

## 平成 27 年度 前期公開授業週間のまとめ

教務部

### 1、各評価について

#### 【すぐれている点】

- ・生徒は、授業に集中している。(53%)
- ・生徒は、発問や学習課題に対して積極的に取り組んでいる。(47%)
- ・生徒個々が、授業への参加意識を持てる場が設定されている。(44%)

昨年と同様、生徒が授業にしっかり取り組もうとする姿勢がうかがえる。生徒が常に受け身になってしまうことがないよう、**参加意識を持って主体的に活動できる場面が増えた**ことに改善が見られる。

#### 【改善するとよい点】

- ・生徒は、分からない点を積極的に質問できるようにする。(59%)
- ・既習範囲や他教科の知識との関連に気付かせる授業展開をする。(25%)
- ・生徒の理解度・到達度の把握行うようにする。(22%)
- ・生徒の理解を促すように、発問や板書を工夫する。(19%)

授業の単元、内容によって生徒の活動内容も変わってくる。**ペアワークが可能なのか、他教科との関連についてじっくり考えさせるのか、討論させるのか、適宜効果的な指導方法を模索したい。**

### 2、SGHに関する授業改善

#### 【コミュニケーション能力の育成】の実践例

- ・生徒自身が課題に対して自分の言葉で説明し、説明不足であれば別の生徒が補足する場面があった(数学)
- ・常にペアでの活動を取り入れている(英語)
- ・ペアでの活動を交えることにより、**一つの動作を完成させるときにはお互いの意思疎通が欠かせないということを理解させていた**(体育)

#### 【言語活用能力の育成】の実践例

- ・全員がディベートに参加し、充実感を得られるように、グループの組み方を工夫していた(英語)
- ・インプットとして音読する場面と、アウトプットとして自分の思いを言う場面が、効果的に設定されていた(英語)

#### 【課題解決能力の育成】の実践例

- ・ハンドアウトに工夫がみられた(英語)
- ・**考え方の道筋がしっかり明示され、応用力を養う工夫がされていた**(国語)

### 3、連絡事項

- ・後期の授業公開週間は11月2日(月)～20日(金)